



# 麻布幼稚園だより 10月号

平成26年9月30日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

## いざという時に

園長 大島 美知代

9月、保育中に地震がありました。お弁当の時間でした。ちょっと大きく揺れてびっくりしました。

主任はすぐに園内放送をかけました。私は、地震に驚いて泣いたり、落ち着けなくなっている園児を安心させようと思い、保育室に走って行きました。ところが3歳児も4歳児も5歳児もきちんとテーブルの下に隠れたり、頭を隠したりし、静かにじっとしていました。中には地震に驚いてテーブル下にもぐれず、じっとしている子、先生の方に近寄っている子はいましたが、一人も泣かずに安全に行動することができました。やはり、普段から先生の話聞ききちんと聞くことや、先生の指示によってすぐに行動できるように指導している結果なんだと思います、嬉しくなりました。

集団でいるからこそ、大騒ぎをするのではなく、自分で安全に行動できることが大切です。その後、担任の指導の反省からは、「とても怖くて緊張する様子が見られた。緊張のため動けなくなっていたので、今後の指導の際に気を付けて落ち着かせていきたい」というコメントがありました。

実際の時に落ち着いて行動できるには何が大切なのでしょう。行動の仕方が分かっていると安心します。自分で防災ヘルメットが被れたり、すぐにテーブルの下にもぐれたりなど自分でできると安心です。年齢が上になるに従って、先生の指示もよく聞こえたり、周囲にいる友達の動きも見えたりします。自分が必死に行動するだけでなく、周囲の動きも把握しながら共に避難するようになってきます。でも、何より大切なのは、その園児が幼稚園という環境が安心できる場所と感じているか、担任（教員）の指示をよく聞こうとし、聞いたらすぐに行動できるか、ということだと思います。安心感、信頼感をもっているか、ということです。

9月2日、防災の日が雨天だったため、プール遊びの準備中に避難訓練を行いました。裸足で遊んでいる場面という設定の上、園長が不在、という設定が加わりました。先生たちは、連絡よく園児に指示を出し、避難訓練を行ったそうです。今回は特に、先生にとっても有意義だった、ということが出されました。

今後も避難訓練をいろいろな想定で行います。11月の作品展の参観日（土曜日）にも、避難訓練を行う予定です。いつ、どこで災害が起こるか分からない状況です。デング熱も然り、大雨、台風、そして地震、また誘拐など、様々な状況に『「想定外」でした』は許されません。幼稚園でもいろいろな想定への対応を考えていきます。ご家庭でも家族でお子さんの様子や自宅の周囲の状況をよく見て、保護者が最善の備えを考えていきましょう。